



17. 調整水槽上部。調整水槽は全部岩盤内を掘鑿して設けたデフアレンシヤル・チヤンパー・サージタンクで、写真に見えるは上室部並にライザー。

3. 昇程200米のエレベーター

樺平に施設した昇程200米の坑内エレベーターは蓋し黒部の一大偉観である。宇奈月から樺平迄の既設専用鐵道21軒と、前記全線隧道の上部軌道との高低差200米を、僅か1分で連絡するもので、これに依り宇奈月を發した輸送貨車はエレベーターを通じて一氣に上流

仙人谷迄運轉することが出来る。同一堅坑内には貨車用の外、人員用のエレベーターをも併容してある。

このエレベーターを採用した理由、堅坑工事、エレベーターの機構等については茲に省略するが、堅坑工事は大林組請負、エレベーターは東洋オーチス會社製である。